

# 新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶん ざっし み げん だい に ほん

## 第3回

だい かい

# 「携帯電話」

けい たい でん わ

著作権の関係で掲載が  
できません。

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情を紹介するとともに、中等教育機関や高等教育機関で日本語を教える先生方が、新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業に活用できるかを提案していきます。今回は「携帯電話」について書かれたさまざまな文体の新聞記事を取り上げます。内容を理解するだけでなく、それぞれの文章の特徴を考えてみましょう。

## 〈新聞から〉

しんぶん

[記事 1]

携帯電話は小型化、軽量化によって急速に普及しました。今では小学生でも携帯電話を持っているほです。

一口に携帯電話と言いますが、2種類のものが使われています。いわゆる携帯電話と簡易型の携帯電話PHSです。PHSは、携帯電話と比較すると利用料が割安、地下街などでも通話ができるという利点がある一方で、走行中の車や電車で通話ができない、通話範囲が限られているなどの難点もあります。現在は携帯電話の利用者がPHS利用者の約7倍です。(郵政省統計資料1999.5)

急速に普及した携帯電話ですが、その弊害も出てきました。電車に乗っていると「車内での携帯電話のご使用はご遠慮下さい」というアナウンスを聞くことがよくあります。これは電話の着信音や話し声が周囲にいる人たちの迷惑になるということからきた配慮です。また、運転中の使用による車の事故も増えています。

毎日新聞(朝刊) 1999年5月21日

「携帯電話・PHS利用者 初めて50%突破」

「日本語教育通信」1999年9月「新聞・雑誌から見る現代日本」第3回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。

[記事 2]

産経新聞（夕刊）1999年5月19日「携帯電話と社会変化」

『日本語教育通信』1999年9月「新聞・雑誌から見る現代日本」

第3回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載できません。

[記事 3]

朝日新聞（朝刊）1999年4月11日「車内の「携帯」なぜ利便図る」  
 『日本語教育通信』1999年9月「新聞・雑誌から見る現代日本」  
 第3回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。

99年4月11日付 朝日新聞 朝刊 ▲

[記事 4]

朝日新聞（朝刊）1999年6月5日「携帯手放せぬ自分がこわい」  
 『日本語教育通信』1999年9月「新聞・雑誌から見る現代日本」  
 第3回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。

99年6月5日付 朝日新聞 朝刊 ▲

記事を使った練習案

記事の内容理解ができれば、記事を資料として利用した次のような活動ができます。

- ・あなたの国の携帯電話の利用状況を調べて、[記事1]を参考にデータを報じる記事を書いてみましょう。
- ・[記事2]では、「人々の意識の変化」「家庭での変化」「会社での変化」の3つの社会変化について質問しています。そこでの質問の仕方を参考に、「〇〇〇と社会変化」というテーマで身近な日本人にインタビューしてみましょう。
- ・一般読者からの投書 [記事3] [記事4] の内容について「そう思う」「そう思わない」の二つのグループにわかれて討論をしてみましょう。
- ・コミュニケーション手段には手紙、電話、ファックス、電子メール (e-mail) などいろいろあります。それらの利点と欠点を話し合い、結果を文章にまとめましょう。
- ・日本の新聞の『Lookにつぼん』のコラムに、e-mailを使って投書してみましょう。

読売新聞（朝刊）1999年4月24日「LOOKにつぼん」  
 『日本語教育通信』1999年9月「新聞・雑誌から見る現代日本」  
 第3回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。

◀ 99年4月24日付 読売新聞 朝刊

今回の練習案についてのご意見をお待ちしています。学習者が書いた記事や話し合いの結果なども編集部まで是非お寄せください。

このコーナーの担当=坪山由美子、長坂水晶（日本語国際センター専任講師）